

テーマ

小さな拠点「ほほ笑み」を拠点に若者たちが集い「みとやのミライ」を考える若者会議を立ち上げる。

公民館等名

雲南市 三刀屋交流センター

テーマの背景

1. 地域を支える次世代の人材育成～地域を巻き込んだ事業を企画、立案、実践につなげる。
平成29年度に実施した三刀屋小学校地区 PTA 会員、三刀屋出身市役所職員へのアンケートより
～「地域課題を若者世代で考えたり、参画させたり、意見を言う機会が必要」等
三刀屋高校生へのアンケートより
～「地域の人と一緒に活動できる場所がほしい。」等
これらの貴重な意見を無駄にせずに、今後に生かしたいと考えた。

実際の取組

取組内容：1. 『「ほほ笑み」若者会議』（仮称）参加者募集 2. 第1弾「思い出カフェ」開催

<取組の概要>

1. 募集対象者：中学生～50代

参加者募集のチラシには、「平成29年度に実施したアンケート集計結果」と「平成31年度三刀屋地区まちづくり協議会が行う事業計画」を添付した。

- (1) 三刀屋地区内自治会へ回覧
- (2) 三刀屋小・三刀屋中学校の三刀屋地区保護者全員（新市街地には自治会未加入世帯が多いため）

<成果と課題>

1. 若者世代に児童・生徒を通じて募集チラシと上記添付書類を直接届けることができ、6月末の募集から1か月余りで30代から50代の11名の応募があった。
2. 第1回会議では、参加のきっかけや地域への思い、みとや世代間交流施設「ほほ笑み」の活用など自由で活発な意見交換を行うことができた。
 - (1) 旧福庭書店は30代以上にとっては思い出の場所であり、20代以下にとっては思い出を作る場所になる。⇒「思い出カフェ」と名付けることが決定
 - (2) お父さんが子どもを連れてきて一緒に楽しめる「ゲーム大会」を企画することが決定
 - (3) 9月29日（日）連担地で開催予定の「雲南まめなカー市」の協賛事業として開催決定



第2回会議の様子



9月29日「思い出カフェ」ゲーム・喫茶・フリーマーケット開催（約200名参加）

実際の取組

取組内容：3. 『「ほほ笑み」若者会議』（仮称）を「みんなのみとやカイギ」に正式決定

- 4. 第2弾「思い出カフェ」～掘り起こそう昭和の三刀屋の風景
- 5. 第3弾「思い出カフェ」～みんなで新年会

3. 『「ほほ笑み」若者会議』（仮称）を「みんなのみとやカイギ」に正式決定

- 4. 第2弾「思い出カフェ」～掘り起こそう昭和の三刀屋の風景～近年、三刀屋連担地内の商店の閉店や空き家の解体が相次ぎ、古い写真等も廃棄される可能性があることから、今の内に昔の写真を集め併せて現在の街並みもデータ保存する。
- 5. 第3弾「思い出カフェ」～みんなで新年会～会議で提案のあった意見や提案は実施した。

<成果と課題>

3. メンバーの皆さんの意見～名称を「みんなのみとやカイギ」にすることにより、年齢を問わず、参加したい方はメンバーになってもらうことができる。これ以降メンバー5名増となる。



4. 昭和の三刀屋の風景写真収集と展示



5. 「みんなで新年会」の様子（約50名参加）



まとめ

テーマに迫るためのポイント

『「ほほ笑み」若者会議』（仮称）は地域への若者の参画が少ないと感じたことから、「地域課題解決」のきっかけづくりの活動を行っていくために立ち上げたが、前述のとおり、今は『みんなのみとやカイギ』に名称を変更して活動している。

今年度の取組をきっかけに、年齢にかかわらず小・中・高生から高齢者まで、より良い三刀屋の地域づくりを目指し、だれでも参加でき、自由な意見やアイデアを出し合い、知恵を形にしていこうとする気運が醸成できた。

今後の展望

現在「みんなのみとやカイギ」の皆さんに今年度の事業の振り返りと今後に向けてのご意見をアンケートによりお願いしているところである。

来年度は、「もっと若い世代と地域をつなげたい」「若者のチャレンジの場を作りたい」という「みんなのみとやカイギ」のメンバーの想いを形にするため、中・高生を対象に「三刀屋中高生チャレンジ」のメンバーを募集したいと考えている。

(文責：集落支援員 倉内敦子)